

## 第 3 回天理市総合教育会議 議事録

開催日時	平成 27 年 7 月 21 日 (火) 午後 3 時 30 分～午後 5 時 15 分
開催場所	天理市役所 4 階 特別会議室
出席者	並河市長、森継教育長、田中教育委員会委員、中嶋同委員、 名倉同委員、前川同委員
欠席者	なし
事務局	山中公室長、木村総合政策課企画室担当課長、上村企画室長 葛本主査
事務局側	藤井副市長、竹株教育委員会事務局長、冬木同局次長、 吉岡学校教育課長、新居崎同課指導主事、 西岡教育総務課課長補佐、土田同課係長、吉本児童福祉課長補佐 上田総合政策課課長補佐 (総合戦略担当)

### ◇会議次第

- 開会
- 市長挨拶
- 案件

1. 教育大綱について
2. その他について

### ◇資料

1. 第 3 回総合教育会議席次表
2. 第 2 回天理市総合教育会議議事録 (概要)
3. 総合教育会議委員からの意見
4. 教育大綱関係施策一覧表

### ◇司会

<事務局 木村>

### ◇市長あいさつ

<並河市長>

### ■案件 1. 教育大綱について

### ◇司会

<事務局 木村>

それでは、ただ今より第3回天理市総合教育会議を開催いたします。委員の皆さまにはお忙しい中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。前回に引き続き、今回もどうぞよろしく申し上げます。議事録を作成する必要があるがございますので、本会も録音をさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。それでは開会にあたりまして、市長の並河よりご挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。

◇市長あいさつ

<並河市長>

改めましてこんにちは。7月中に第2回目を開催することになり、その間にも委員の皆さまには前回のたたき台のところから、ご意見を頂戴するという流れになってきていますけれども、今日は、皆さま方から頂いたご指摘を踏まえて、それぞれ課題ごとに事務局で整理をしている最中がございますが、抜けているポイントや項目がないかというところについてぜひとも確認いただければと思っております。

先般、県のほうで、知事と県の教育長、首長とで集まる教育サミットというのがございまして、そこで昨年度の学力試験の結果、各種アンケートについて他市と比較する形の発表をいただきました。やはり学力・体力・規範意識ともにしんどい状況にありまして、今、議論していただいている「書く力」については、継続的に課題であると如実にでております。また、子どもたちの意識からしても「約束は守らないといけない」と多くの子どもが前向きに答えているんですけども、「学校が好きだ」あるいは「いじめは絶対にいけない」といった項目について弱い数字がでてしまっている。体力についても、相関関係が非常に強い項目として「体育が得意だ」という項目についても若干低い数字がでていいる。これらの結果は、答え方によっても変わってくるのが数字ですので、それをもって一概にはいえない部分もありますが、継続して出ている傾向に対しては、きちんと大綱の中で課題に向かっていけているのかというところをしっかりとやっていかなければいけないと改めて感じた次第でございます。本日もどうぞよろしく申し上げます。

■案件1. 教育大綱について

<事務局 木村>

ありがとうございました。それでは議事に入っていきます。議事進行は、並河市長にお願いいたします。

<並河市長>

はい。それでは、案件1の教育大綱について、事務局から説明いただけますか。

<事務局 上村>

失礼します。資料がございますので座って務めさせていただきます。22 ページの資料につきましては、前回の総合教育会議及び7月9日(木)に委員の皆様からいただいたご意見をまとめたものです。次に26 ページからの資料は、そのご意見を受けて庁内で数回の打ち合わせ及び市長を交えて会議を開き、前回のたたき台から修正したものです。前回と変わった点など、要点とワードを抜き出して少し説明させていただきます。まず、「1. 自分の力で未来を拓いていく力を持ったひとづくり」の①就学前の充実②義務教育の充実 について、それぞれの施策を分かりやすいように大きな要素でグルーピングをしました。

以下【教育大綱 関係施策一覧「1. 自分の力で未来を拓いていく力を持った人づくり」「①就学全教室の充実」「②義務教育の充実」の要点の読み上げ】

<並河市長>

課題別に注解をするという形で、並べ直したところでもあるんですけども、お気づきの点等ございましたら、いかがでしょうか。

教育長、いかがでしょうか。抜けている部分などポイント的な部分だけ、できればご指摘いただけるとありがたいと思います。

<森継教育長>

4本柱の1番でいつも時間がかかってしまい、2、3、4番が市長と教育委員と一緒にまだ話合っていないのですが、この部分はこれで充分対応できていると思います。

<中島委員>

細かく具体的で、読めばなるほどというようになっています。大綱というのはこういう形になるのでしょうか。

<並河市長>

この資料は具体的なものを書いていて、ここから目玉になるキーワードを抽出したものが大綱であって、この資料はどちらかというとアクションプランに近づいているような感じですか。この間、内部で話をしておりますが、課題ごとに並べておりますけれども、まず、就学前教育自身の柱になる考え方がまず頭にきたうえで、課題のところに対して施策をおく形で加工する必要があるだろうと思っています。今だと、課題が並列に並んでいて、それに対してこれをやりますという形になっていますけれども、まず、就学前教育で重視している状況は何だ、というような頭書きの所がまだ入っていないので、それは今からということでもよろしいですか。

<森継教育長>

最初の資料では、A 3 の両面になっていましたが、大綱はどれくらいまで絞るのでしょうか。

<並河市長>

A 3 だけで終わらないといけないことは必ずしもありません。この資料は、別紙という形で大綱として入ってきます。あくまでもこの資料は、議論するためのものであって、ここにそんなに意味付けとつながりは設けていないので、後になってから相関図は書けばいいと考えています。市民のみなさんがこれ全部に目を通してということも、なかなか理解はしづらいと思いますので、就学前教育であれば「こんな課題があって、重点的にこういうことをやっていくつもりです」と、実際に具体的にすることについては「別冊に付いています」という格好でいいですよ。

<事務局 上村>

はい、そのように考えています。

<並河市長>

ここから次に、抽出していく作業がありますので、今日は要素として抜けている部分がないかの全体の了解をとっておくと、2 度手間、3 度手間にならないと考えています。

<田中委員>

読ませていただいて、今まで天理の小学校で取り組まれてきた内容が整理されている、プラス今まで出てきた意見を取り入れられているなどと思います。特に、就学前教育における「幼保の連携」の中で「小 1 プロブレム」の内容及び、「義務教育の充実」の部分では「中 1 ギャップ」の問題があるということで、整理をよくされていると思いました。「授業を受ける 10 のきまり」は、北中ブロックでされていることでしょうか。この内容がわからなかったのですが。

<前川委員>

前回、四つ葉プロジェクト云々の文言があったが、なくなったのか。

<森継教育長>

北中ですね。

<田中委員>

この「10 のきまり」の内容をまた教えていただければと思っています。

意見だけを申し上げますが、②義務教育の 28 ページの【課題】のところ「自己表現

力」を、人権の課題からこちらに持ってこられたのは賢明だったかと思います。特にディベート大会も、どの学校でもやられているとは限らないので、具体化が必要であると思いますが、それ以外にも子どもの自己表現力を高めるためには、例えば、英語暗唱大会等が行われていると思います。そういった弁論大会みたいなものも天理独自で取り組めたら、子どもの自己表現力がつくのではないかと、この課題を見ていて思いました。

2つ目の○に「社会に貢献するための自己表現力の育成」と書かれていますが、これはボランティアのことなのか、教えていただければ有り難いと思います。

次に 29 ページの【課題 いじめの未然防止・対策】のところですが、2つ目の○は、子どもたちに考えさせ、生きる力をつける手立てとしてあると思いますが、その他は問題が出てきたら対応しようという内容だと思います。ですので、2つ目の○の部分の事前に子ども達に考えさせるというところの中身をもう少しプラスして、例えば、就学前から培わなければならない仲間意識なり、いじめを自らの力で撲滅していく、あるいは仲間の力で見抜き、克服していけるような、小中につながっていけるような何か教育的な分野の文言が必要ではないかなと思いました。

<並河市長>

いずれも非常に重要なご指摘だと思います。まず、最初のご意見の「標準化」のところではどうですか。四つ葉プロジェクトの中身が想定されていたかと思いますがけれども。

<森継教育長>

中学校の4つの校区ごとに、夏休みの期間で話し合っています。校区ごとでしなければならないものもありますが、今は、天理市で共通の部分の問題を話し合ってもらっています。四つ葉プロジェクトは、教育委員会の時にお示しさせていただきます。

<中島委員>

前回に意見としては議事録にありますけれども、四つ葉の話はでていませんし、内容も詳しくは知りません。確か、四つ葉というのは、北中と北中校区の3つの小学校の先方が連携しながら学力と生活の部分でつなげていこうというものです。

<教育委員会事務局 吉岡>

同じ中学校へ行く小学校で、同じ学習規律で学習することによって、スムーズに中学校へつなげていこうというものです。四つ葉プロジェクトとは、北中へ行く櫛本小学校・山の辺小学校・丹波市小学校の間で、話をするときや発表するときのやり方など、10個ほど規律を決めて、同じ規律のもとで育った子どもを北中学校へ送っていこうとするプロジェクトのことです。10個の規律は、今資料が手元にないので全部はわかりませんが、各小学区で取り組んで、同じ価値観を持った子どもが中学校で勉強をスタートするという目的で行うものです。

<並河市長>

それをさらに全市的に広げていこうということですか。

<教育委員会事務局 吉岡>

そうです。四つ葉プロジェクトでされたことは、結構な効果があったと聞いています。それぞれの中学校で状況は違うと思いますが、北中での基準、西中での基準、南中での基準というのを先生方が相談する中で統一してもらって、同じ基準の中、中学校で学習するというものです。

<並河市長>

中学校ごとにというのではなく、中学校へあがってくるときにバラバラのことで混乱が起きないように、中学校・小学校の先生方で一緒に話し合っ、て、天理市としてのものを作っていくましようということですね。最低限のツボを押さえていないと、次のステージにいくときに上手くいきませんよということですね。

<名倉委員>

「10のきまり」というのは天理市各校区、統一のものですよね。

<並河市長>

今回の議論をきっかけに、統一しようと。

<前川委員>

だから「四つ葉プロジェクト」の表現を削られたと理解しています。

<並河市長>

他のポイントでいうと「自己表現力の向上」は、「低学力・学習意欲」のところとつながっていますが、不足しているというご指摘に対しては、また検討して参りましよう。全ての試験の結果として「ここが一番弱い」となっている所に対応するものとしては、「ディベート大会の実施」です。これだけでは、課題に対応するには不足しているのではないかと思います。ご質問いただいた「社会に貢献するための自己表現力」の部分の意図を説明いただけますか。

<教育委員会事務局 吉岡>

各中学校の特に吹奏楽部なんかは、地域の行事に積極的に参加して、音楽で自分たちの思いなり、気持ちを伝えていくということを含めて「社会貢献するために」と表現しています。また、ボランティア活動を通して、自分は地域の人あるいは他の人達に役立っているんだという気持ちも育てていくというところで、自己表現力につながると考え

ています。

<並河市長>

「自尊心のところとつながっている」「表現を通じた活動を活発にやっていく」それが目的だという今のポイントをもう少し書き下していただくと、何のためにやっているのかがわかりますね。

いじめについては、いじめになる前の対策というところで、就学前の所も含めて若干こうだというお話だったかと思います。調査の結果では「いじめを絶対にはいけない」と答える生徒の数が他の市町村よりも低い。「いじめはどんな理由があってもいけない」というのが小中ともに低いですね。その意識にどう対応していくのかというところが傾向として少し弱いので、その部分を若干考えていきましょう。田中委員のコメントのポイントとしてはこれでよろしいでしょうか。

他にございますでしょうか。私から一点。放課後子ども教室と土曜学習とICT環境については、別途時間を作って、どう進めていくのか中身を詰めましょう。この部分の文言は一旦仮置きとしておきます。

では次、③特別支援教育の充実のところをお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「1. 自分の力で未来を拓いていく力を持った人づくり」  
「③特別支援教育の充実」の要点の読み上げ】

<前川委員>

障害を「もつ」とか「もった」という表現がありますが、「障害のある」という表現にされたほうがいいのではないのでしょうか。

<並河市長>

おっしゃるとおりです。前にも、周りの子どもたちがどれだけ理解しているかということが、障害のある子どもにとっても、そうでない子どもにとっても非常に重要だという指摘があったかと思いますが、その部分が「盲導犬」「車椅子」のところに「認識・理解を深める」と書いていますけれども、指摘内容からするともう少し書き込みがあってもいいのかなと思いますね。表記の仕方については、我々自身も心を配ることが必要だと思います。

<田中委員>

「共生」という言葉がどこかで要ると思います。共に生きて共に育つという「共生教育」という言葉が。

<中島委員>

それは全てに通じますよね。

<田中委員>

特に障害をお持ちの子どもについては、周りで理解をしないといけない。もっと言えば、当たり前に関わっていける力を周りの子どもが持っていなかったら、特別扱いになってしまう。

<並河市長>

同じ状況でも、教室への入りやすさ、行きやすさ、学びやすさ、全く違いますし、他の子どもにとっても、そのあとに多様性のなかで生きていくうえでプラスになっていく、そういうご趣旨ですね。ただ、気遣う側というだけでなく、障害のない子どもにとっても非常に重要であるという視点も必要ということですね。

他に何かありますか。

<森継教育長>

「共生」の表記はどうしますか。

<中島委員>

「共生」ということが特別なのか、みんな共生ですよ。特別扱いではない。

<名倉委員>

もう少し丁寧に文章を書いて、その中に「共生」という言葉も入れたほうがいい。

<田中委員>

そういう視点もここに入れておかないと。ともに歩んでいる子どもに我々が教えてもらうこともあるんですよ。例えば「あの子はこうやねん」と、小さい時から一緒に生活していた子どもが教えてくれる。「何の違和感もなく生活しているんだな」と感じるという体験が何度もある。それが「共生」だと思います。共に育って、共に生きてきけると。そういう環境を子どもたちが作れば、ハンディがあろうが何ら問題なく共に生きていける。

<並河市長>

それに向けてどういう取組みをやるんだ、というのが一つの課題ですので、すぐに答えは出ないかもしれませんが、要素としてひかえて下さい。では次の「④青少年の健全育成」についてお願いします。



<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「1. 自分の力で未来を拓いていく力を持った人づくり」  
「④青少年の健全育成」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかがでしょうか。今まで出ていたご指摘からいいますと、教育総合センターに行かないといけなくなる前の部分の要素がほしい、という話はずっとあったかと思いますが、具体的な取組みとしては難しいかなと思います。ここに書いてある【未然防止・対策】は、どちらかというと非行系の分ですね。不登校、悩み、ニート対策のものは、どこにあるのでしょうか。

<森継教育長>

29 ページの【いじめ未然防止・対策】のところにありますね。

<並河市長>

失礼しました。他、何かございますでしょうか。

<森継教育長>

ボランティア活動って 28 ページでも出てきて、ここでもボランティア活動って出てきてるんですが。

<並河市長>

28 ページのものは、自己肯定感ですか。

<森継教育長>

健全育成のボランティア活動ですか。

<並河市長>

自己肯定感をどこに入れるかということもあるかもしれません。自己肯定感を高めることが青少年健全育成の一環だということであれば、それはこちらでもいいと思います。

<田中委員>

28 ページのところですが、自己肯定感と自己表現力というのをもう少し整理をしないといけないのではないかと思います。社会貢献をすることによって自己肯定感が生まれる場合もありますよね。例えば、ボランティアを通して人を助けたり、というようなところで自己肯定感がわいてくると思いますので、その辺を少し整理をした方がいいと思います。

<並河市長>

この2カ所を若干整理するというご趣旨でしょうか。

<田中委員>

はい。その方がわかりやすくなると思います。

<並河市長>

他、ご指摘事項はございますでしょうか。では、⑤をお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「1. 自分の力で未来を拓いていく力を持った人づくり」  
「⑤学びの環境整備」の要点の読み上げ】

<並河市長>

今の点については、皆様方、いかがでございましょうか。

「福住中学校」だけが唐突にここにある感じがしますね。小学校も含めてでしょうか。

<森継教育長>

特色あるということで福住校区の方に英語教育とICT教育を。もし、ALTを2名から3名に増員できるのであれば、福住の方からこちらの方に降りてきていただいて指導していただけるというのもあります。ICTの方は、将来的にも複式になるようなことがあれば、教諭が同時に向きを変えなければならなかったものが、ICT機器でこちらの学年は、何をしているかということが一瞬にして見ることができます。ICT機器を入れて先生方にも生徒にも慣れてもらうということで考えています。

<並河市長>

それは、ぜひ積極的にやっていただけたらと思います。中学校だけでしょうか、小学校はいかかですか？

<森継教育長>

英語の方は、もしALTがいれば、小学校の方にも入ることは可能です。

<並河市長>

福住校区の特区の話はどうなりましたか。

<森継教育長>

特区の話は、順番がありますので、今のところは、まず特色ができてこないと考えら

れないと思います。

<並河市長>

また、後で議論しましょう。創生の文脈からもこれは 29 年度ということをお願いしたい。

<並河市長>

他、ございますでしょうか。

<名倉委員>

前回に載っていた「校庭の芝生化」というのは省いたのでしょうか。

<森継教育長>

前の方に載っています。体力づくりのところの 28 ページの上から 3 つめの○印のところです。

<並河市長>

I C Tと芝生の記載は、当初こちらにあったんですけども、内部で議論した時に何のためにやるのというところが、ここに記載されていると良くわからないとなりました。ですので、課題のところ載せることによって「何を指すのか」というところをはっきりさせたいということになりました。

<名倉委員>

わかりました。そうしたら、ハード面のところに芝生の持続とかの記載はしないのですか。

<並河市長>

裏表であった方がわかりやすいかもしれません。

<名倉委員>

その方がいいと思います。

<並河市長>

導入は段階的になってくると思います。

<並河市長>

他に何かございますか。

よろしければ、次の 2 をお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「2. 子育て環境の整備とコミュニティづくり」「①地域の絆や交流の拠点づくり」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかがでございましょうか。何かございますでしょうか。

<田中委員>

子育てについては大変丁寧に進められているというふうに関心を持って読んで思いました。ひとつだけ、地域の交流のところで添上高校との交流はあるのですが、天理市には二階堂高校、天理高校がありますが、なぜ、これはこうなっているのでしょうか。

<並河市長>

キャリア教育のところに入っていたのでは。

<森継教育長>

幼稚園実習はたぶん二階堂では。

<並河市長>

連携は「ここだけか」というところを確認をして下さい。

<並河市長>

他に何かございますでしょうか。

<並河市長>

保健センターのところに、今検討している「子育て支援ホール」というのは、どの言葉になっているのでしょうか。「子育て世代包括センター等」のところに書いてあるのかその部分なのかと思いますが、どうでしょう。まさに今、保健センターの休診が空いた後で一体的に運用しようとしている施設についての言及が、以前あったような感じがしていますが、どこかに溶け込んでしまった感じでしょうか。

<事務局 吉本>

今、検討中でして、どういう言葉で表現したらいいかというところが、曖昧なままでここにあげさせてもらっています。

<並河市長>

どのみち、今年度議論する内容であるので、それはどういう施設か、どういう機能を持たせるのかという要素はしっかり書き込んでいただけますか。

<事務局 吉本>

はい。

<並河市長>

この件は、議会でも言わせていただいているところで「あれ、なくなったな」と思いましたので。今の段階でまだ煮詰まっていないところについては、「検討中」などわかる形であれば、いいのではないかと思います。

<並河市長>

いかがでしょうか。その他、ございますでしょうか。

では、次の②をお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「2. 子育て環境の整備とコミュニティづくり」「②子育て支援の推進」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかがでございましょうか。皆様から何かご指摘、ご質問等はございますでしょうか。

<前川委員>

「ブックスタート事業」というのは今もされているのでしょうか。

<並河市長>

これは新規事業でしょうか。

<事務局 吉岡>

図書館の取り組みとして、出生届の時に絵本を渡している事業だと思います。

<並河市長>

絵本そのものをでしょうか。

<事務局 吉岡>

絵本そのものです。

<並河市長>

誰がどんなものを選んでるのでしょうか。

<事務局 吉本>

図書館で選んでいただいた絵本を一冊お渡ししています。

<並河市長>

なるほど。この中でも認知が低いということがわかりましたので、中身を調べて下さい。

<事務局 山中>

だいぶ昔からしていると思います。10年以上前からやっている事業ではないかと。

<並河市長>

わかりました。

<前川委員>

絵本を贈るというのが、出生時がいいのかと今、ふと思ったのですが。例えば、1歳児検診とかありますよね。そういう時の方が、絵本を贈るのであれば、と思ったので。

<並河市長>

なるほど、そういうご指摘ですね。

<事務局 吉本>

0歳からの絵本指導というか、絵本に触れるという意味では早い時期がいいのではということとされている取組みだと思います。

<並河市長>

なるほど。それは考えがあって、ということですね。言葉がわかる前から言葉に触れようということで、読み聞かせの習慣をつけてあげようという趣旨でやっているということですね。

<事務局 吉本>

そういう意味もふくまれていると思います。「はじめて出会う絵本」ということで、図書館のほうで選んでいただいているものだと記憶しています。

<中嶋委員>

これを変えるかどうかという話ですよ。

<並河市長>

それは、本の専門の方からのコメントをもう一度聞き取りましょう。

<前川委員>

絵本も文字もないものや、ちょっとしたひらがなが入っているものもあると思うので、たぶん、その選定をされておられるのではないかなと。

<並河市長>

次の回に実物も見ていただいたらと思います。

<中嶋委員>

公民館のところの文言で「学校の宿題や復習などの補充学級を支援する土曜学習」とありますが、これはすでにされておられるのですか。

<森継教育長>

9月から、朝和公民館で行います。

<並河市長>

式上ではなかったですか。

<森継教育長>

場所的な問題があって、朝和に変更になりました。

<名倉委員>

すでに行っているということを知らなかったもので、この記載は方向性かなと思っていたのですが。

<並河市長>

これについては、さっきの義務教育のところにも書いてある土曜学習の実施との整合性と今後どうやっていくのかという部分がありますので、資料では、パイロットプロジェクトという扱いをしています。今後の具体的な部分は別途議論する必要があるかと思っています。

<名倉委員>

わかりました。

<並河市長>

朝和の方は誰が教える形になったのでしょうか。

<森継教育長>

元福住小学校の校長先生が、生涯学習課にいますので、その方が中心です。その他、理科の実験ということであれば、そういう講師の方が行かれます。

<並河市長>

なるほど。ありがとうございます。今回、身近でやる取組みなので、この中でも情報共有させていただいて、他の校区での対応については、来年以降の取組みとしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

<森継教育長>

問題点は、講師をそれだけ集めてこられるかどうか。

<並河市長>

今回の予算付けはどうなってますか？

<森継教育長>

地域のパートナーシップという形でさせていただいています。

<並河市長>

小学校校区でいくのか、あるいは次の中学校というところをめざして進んでいくのか、どのくらいの予算をかけて、どのくらいの範囲で展開していくのかということ、話し合う必要があるかと。できる範囲じゃないと難しい。

それでは、次の生涯学習のところをお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「3. だれでも、どこでも学び合える環境づくり」「①生涯学習の充実」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかがでございますでしょうか。



<並河市長>

「新しい方が来ていただけるような多世代交流型の各種講座」というところについては、もう一步踏み込んでいただきたいと思います。方向性はまったくその通りですが、「何をするんだ」というところの議論を今まさにする必要があろうと思います。

<中嶋委員>

これは今までされていた講座との兼ね合いというのがあるのではないかと思います。これまでの流れを切るのではなく、近くの校区の公民館同士で融通し合って、これまでしていた事と新しい事との両方をしていかないと、今、利用されている方の不満も出てくるのではないかと思います。

<並河市長>

場所という意味ではそうなのでしょうが、なればこそ、こういうことをやっていくためにも学校活用を、というところではないかと思います。

では、②のレクリエーションのところをお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「3. だれでも、どこでも学び合える環境づくり」「②スポーツ・レクリエーションの充実」の要点の読み上げ】

<並河市長>

この点については、いかがでしょうか。

<中嶋委員>

今、地域の絆づくりの2点目にあったのですが、「定住自立圏域町村のスポーツ・レクリエーション施設の相互利用を促進する」という話は、先日の会議にも出ていまして、施設の事だけではなく、例えば、地域によってはスポーツ少年団のチームも限られているんだとかいう場合に、この定住自立圏で子ども達、スポーツ少年団が交流することで大人自体も交流が生まれたり、またそこにいろいろな複合的な関係が深まるのではないかという意見もあったので、この辺をこれからは重視していただいて、天理市だけではなく、今、天理市を中心市とする定住自立圏のところとも共同していけるような内容にしていれば良いと思います。

<並河市長>

施設の利用のみならず、実際の交流をということですね。

<中嶋委員>

「空いているから、隣を借りる」ということ以上の効果があると思います。

<並河市長>

空間を共有することによって交流をということですよ。

<中嶋委員>

そうです。

<並河市長>

方向性として、間違っていないとか、非常にまとめていただいているとは思いますが、「どこで、いつ、だれが、何を、どうするのか」というところをもう少しだけ書き込んでいただきたい。特に一番最初の〇と一番最後の〇については、その部分がまったく書かれてない感があるので、せっかく取り組んでいただいていることがたくさんあると思うので、充実させていただきたい。最後のところで言えば、今、バンビシヤスなんかも来ていただいてバスケクリニックをやっていたりとか、そういう見るスポーツの部分とそれを体験するスポーツの部分を合わせたような取組みをせっかくやっていたりするので、何かそういう要素を書いていただけるとありがたいと思います。

<森継教育長>

「てくてくてんり」は書かなくていいのですか。

<並河市長>

親子参加で地域のレクリエーションですね。

<森継教育長>

昨日も福住に 100 人来ておられました。

<並河市長>

ここに入れるか、地域交流系のところに入れるかですね。「てくてく」の関係で申しますと、柳本とか朝和とかで校区のウォーキングイベントを櫛本でもやっていただいて、歩く部分と地域の魅力を再確認みたいな形でやっていただいているケースも多いので、④のところとからんでくるかもしれません。

いったん、次の③をお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「3. だれでも、どこでも学び合える環境づくり」 「③環

境教育の充実」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかかでございますか。皆様からご指摘とか。

昔から何度かクリーンセンター関係で議論をしていましたが、分別のやり方だとか生ごみの水をきろうだとか、家庭の中になかなか浸透させきれないことを、子どもを通じて持って帰ってもらえるような取組みをもっとしっかりやってほしいと思っています。「町から町へ」に載せたとしても、きちんとやってる方に限って読んでるんですけども、やってほしい方は読み飛ばすという状況があると思います。ぜひ、そういう取組みを教育現場でやってほしいと思います。生ごみの水をきってもらくと燃費とごみの量が全然変わってくる。そういうことを、子ども達の手をもって家に持ち帰ってもらいたいと思っています。

<中嶋委員>

子どもさんがいないご家庭もあるかと。

<並河市長>

それはそうかもしれませんが、環境教育の一環として、クリーンセンターを見に行くとかだけじゃなくて、教育の中で環境を守るための実践的な部分を学んでいただきたいという要望です。

では、④をよろしくお願いします。

<事務局 上村>

【教育大綱 関係施策一覧「3. だれでも、どこでも学び合える環境づくり」「④市民文化活動の振興」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかがでございますか。

<森継教育長>

高校の同窓会に行きまして「天理に住んでいる」「こういう仕事している」と言ったら「お前の街は『音楽の街』『文化の街』というすごいところに住んでいるんだな」と誉めていただきました。「第九を自前のオーケストラでしているところは奈良県ではめったにない」と誉めていただいて、知らなくて逆に恥ずかしく思いました。

<並河市長>

それを可視化しようというところですね。そういう部分を天理で住むことの誇りにつ

なげていきたいということを今、やっているところ。

<並河市長>

「虫送り」の時にも思いましたけれども、多世代交流だけじゃなくて地域間交流の要素を出す必要があると思います。「虫送り」も平野部の子どもが結構、親子で参加していましたし、今回の「てくてく」も市内外の平野部から行っていただいたということからすると、結局、市内の中でも意外に知らないという部分がございますので、地域間交流の部分を加えていただきたい。それから、駅前ではなく市民会館、文化センター含めて一体的に場所提供として考えていきたいと思いますということも考えていますので、このあたりも取り上げていただきたい。

<森継教育長>

どうやったら皆が知ることになるのでしょうか。天理市がもっている財産とか、取り組みとか。

<並河市長>

とにかく、見えるところでやりながら、つなげていくしかないのでは。

<中嶋委員>

足を運んでもらって「こういうことがあったんだ」ということに。

<並河市長>

知ってもらうきっかけとして。何気なく通りかかる時にやっているとか、いたるところでやっているとか、あるいはもっと広報発信をこまめに打っていくというところが必要だと思います。情報発信のところで連携していくというところで、発表の場を提供すると書いていただいています。そういう場所づくり、機会づくりとその可視化という、これしかないというところではないかと思います。

<森継教育長>

この仕事をしていなかったら、知らなかったことがたくさんあるような気がします。

<並河市長>

率直なご意見ですね。でも、そんなものかもしれません。

<森継教育長>

「発信はしている」と言っても、それが伝わっていないことがある。

<並河市長>

おっしゃるとおりです。

<森継教育長>

で、よそに行つて教えられて帰つてきたという。

<並河市長>

それを前進させるには、見える場所でやる機会をどんどん作っていくとか、興味ない人にどうやって触れてもらえるのかということで、学校の間なんかというところは最適だと思います。駅前だけで取り組んだとしても二階堂、櫛本の方はしょっちゅう駅前に来ないので、そうすると可視化の枠もいろいろなところへ散らす必要もあります。

教育長から、率直なコメントいただけて、わたしは大変うれしく思っています。

<中嶋委員>

数年前まで図書館も北側に駐車場がないときは、図書館の場所は、知っている人は知っているという状況でした。整備される時に看板を立てませんかという話があつて、今、小さな看板があると思います。あの看板があるだけでもないよりは、ということがあるので、少しの費用でも認知を上げることもできるのではないかと思います。

<並河市長>

何の関係もなく来た人に情報発信のすることが重要だと思います。ある事業をやる時にその事業のパンフレットは配るのですけれども、関連したそれ以外のものが配られる機会というのは極めてまだ少ないというところがあります。情報発信はまた、頑張っていきたいと思います。

<中嶋委員>

そうですね。工夫がいます。例えば、今月においては、天理市内で大小のお祭りがされています。ほとんど毎日のようにされている。それが広報の「町から町へ」のところに「天理の祭りカレンダー」みたいなのがあつると、「今日は丹波市だ」「今日は朝和だ」「今日は二階堂だ」と子どもなら自転車でいけるようなら行つてみようかなとか、何かそういう展開になつてくるのではないのでしょうか。

<並河市長>

「情報発信」という要素をここの中に入れていくということをお願いします。

<中嶋委員>

文化活動というのは、やっていることの発信ですよ。

<並河市長>

そうです。今は「やっている当人と親と親戚、友達で終わり」みたいな感じの要素が大きい。

<中嶋委員>

教育長に「すごいですね」と言われるご友人がおられたということは、他でも認知されているということかと思います。

<並河市長>

もったいないわけです、それは。大変もったいないと。  
では、時間の都合もあるので、5 番をお願いします。

<事務局 上村>

失礼します。この⑤につきましては、前まで「⑤文化財の保護と活用」という文言になっておりましたが、教育の大綱になじまない表現であるかと考え、事務局サイドでこのように変更させていただいたところです。よろしくをお願いします。

【教育大綱 関係施策一覧「3. だれでも、どこでも学び合える環境づくり」「⑤豊かな文化遺産に触れる学習の推進」の要点の読み上げ】

<並河市長>

いかがでございましょうか。

どうしても講座ものが多いですね。文化財課の中で大切にやっていたいっているやつはしっかり書き込んでいただいているありがたいのですが、これも教育長の話ではないのですが、この部分にも、若干、すそ野を広げるという要素は欲しい。

<前川委員>

参考館とか。

<並河市長>

そう言えば、参考館の要素は入っていないですね。大学もせっかくあるのに。大学との連携で、いろいろな事業が動き出したのは事実ですし。せっかく、大学、参考館があるというご指摘ですので、今までよりも広報との連携は必要かと思います。

遠足で、参考館ってそもそも行ったりするんですか。

<中嶋委員>

昔はありましたね。

<事務局 吉岡>

展示内容にもよると思います。子ども達が興味あるような場合は、近隣の小学校になりますけれども。

<並河市長>

せっかくですから、参考館との連携というのはあってもいいと思いますし。

やっぱり樺本のお子さんなんか、古墳がわが町にあるということが一番感じるのは、灯火会をやっているからではないのかなというように思いますが。

<名倉委員>

はにわ祭りとか。

<並河市長>

その辺の行事、地域の中に入っていた部分もあるかもしれませんが、文化財が豊かだということについてふれる地域の行事というのは結構あるので、まさに、氷まつりなんかも氷室があるということを知るためにやっているような感じもあるなということからすると、何か地域行事をしっかりとこの部分で入れ込んではいかがでしょうか。

<中嶋委員>

地域にある行事を学習するという。

<並河市長>

その地域行事が、天理の場合、文化財と密着しているという要素が強い。

<森継教育長>

地域のやつは 28 ページの体験活動のところに「埴輪祭り」とか「ちゃんちゃん祭り」とかは書いてある。

<並河市長>

両方に書いてあってもいいかもしれませんし。せっかく特出しするのであれば、しっかりと書き込んでいただけたら。

では、次をお願いします。

<事務局 上村>

失礼します。柱の 4 につきましては、①と②、合わせての読み上げとさせていただきますと思います。

【教育大綱 関係施策一覧「4. 人権文化の高揚と世界で活躍するグローバルな人材づくり」「①人権教育の推進」「②国際交流の推進」の要点の読み上げ】

この柱については、事務局サイドで少し意見がありまして、以前、②にありました「自己表現力の向上」が学校教育に移動した関係で、項目が二つになりました。また「グローバルな人材を」という部分で、②の3点しか整理しきれませんでした。以前「天理ならではという部分を使って、グローバルな人材を育てていくのであれば、この名前でもいいかもしれないが、どうだろうか」という話があったと思いますが、そういった整理ができませんでした。ですので、現状として大きな柱を支える施策としては、少し弱いのではというのが事務局サイドの感想です。

具体的には、人権の部分の「義務教育」のところを 32 ページの教育の部門の⑤として設定し、⑤の学びの教育環境の整備を⑥として移動します。社会教育の 11 日の人権を確かめ合う日の啓発活動とアニマの啓発チラシの配布につきましては、教育というよりその内容が主に啓発ですので、削除してはどうか。また、国際交流の 3 つは 28 ページの義務教育の課題である「体験活動の推進」に移動する。このことによって柱の 4 の要素を 1～3 に移動し、4 を削除してはどうか、と考えています。あくまでも、作業を行ったうえでの事務局の考えですので、意見をいただけたらありがたいと思います。よろしくをお願いします。

<並河市長>

守備範囲をどこまでするかということだと思っんですね。人権のところも各種協議会とか人権センター所管のところでもやっていたらいい市民レベルの活動というのはいっぱいあって、私もたくさん出席もさせていただいて、決して啓発活動だけではないことを本市は取り組んでいると思っんですが。

ご意見はいかがですか。

<名倉委員>

人権問題を義務教育の中だけにいれてしまうと、社会秩序というのがもともと人権教育によってなりたっているんで、市民全体のことだと思っんです。義務教育の中に入れる必要もあるんですけども、この人権文化の高揚というのは必要ではないでしょうか。

<並河市長>

それは今、うちの所管の中でもう少しくらし文化部とか健康福祉部とか人権センターの方にもちゃんと取り組んでいる中身を確認したうえで、全市民的な人権文化の高揚の要素であればもっと書き込む内容があるのではないのかなと思っます。社会教育はもつとやっているでしょう。



<前川委員>

男女共同参画的なこともあるんじゃないでしょうか。

<並河市長>

今のメンバーの中で所管が入っていないことによるだけのような気がしますので、こちらの方からもちゃんと聞き取っていただけるといいと思います。もちろん、義務教育のところにもその要素が必要なので、若干、重複しても構わないのでは。

<中嶋委員>

みなさん、おっしゃるのはごもっともですし、私はちょっと意見が違うのは、そのまま4番を強調して中身を精査するというのもひとつですし、1番の義務教育の部分と3番の生涯学習的な部分のどちらにもそれぞれ人権教育の推進というのは、義務教育の中での人権教育の推進も必要と思いますし、天理市全体としての人権教育として、これは大人になっても必要なことなので、3番でもあてはまるのでは。2番の国際交流の推進も義務教育においても、今、特に韓国のソサン市と交流が深いんですけれども、義務教育レベルの交流もありますし、今、市民の中でハングルの講座なんかもされていますけれども、3番の生涯学習的な部分での天理で暮らす方との異文化交流というのも、生涯学習としてもされておられますので、書き方にもなってくるのかなと思います。ただ、クローズアップするととなると4番なので。

<並河市長>

そうですね。やっぱりないということにならないのかなと。

<名倉委員>

クローズアップをなくしてしまったら問題があると思います。社会の秩序を守っていくために一番大切なのは人権教育ですね。4番をなくすことの意味を考えて、入れ込んでしまうのか、おいておくのか。

<田中委員>

教育の部分の原点に人権の要素は入っていると思います。だからこそ、こちらへもう一度作る必要があるのは、もう少し検討されて、グローバルな感覚というのは、かつては中学生がハワイに行っていましたよね。費用はかかるけれども、天理にはいろんな外国人がいるわけだから、そういうものを発想して世界に通じる子どもをどうするのかという発想をされたほうがいいのではないかと。人権文化で言えば、義務教育と社会教育とあるが、家庭教育はどうか。人権教育には家庭教育がある。家庭教育の部分でもっと発信していくというスタンスと同時に世界に通用する人権意識をもったグローバルな子どもを作っていくという発想をされた方がいいと思います。人権教育に関わっては、義務

教育に浸透していると思う。そこへまた入れていこうというよりも、人材づくりは残して、さらに精選をして天理独特のものを作る素地はあると思います。

<中嶋委員>

そうしたら、これを1番にもってきてそういう人材を作るべきだという部分で一番の柱となって、その後この1, 2, 3の意味合いですよね。

<並河市長>

申し訳ありません。どうしてもはずせない次の予定の時間が来てしまいましたので、退席させていただきます。後は教育長におまかせしますので、よろしくお願いします。

今、人権の部分、あるいは国際的なというところでは掘り下げてという議論がだいぶとあったと思いますが、もう一度ここは玉を整理した上で、取り組んで参りましょう。今後の進め方の部分だけ整理をいただきますよう、お願いします。失礼します。

(市長退室)

<森継教育長>

それでは、もう意見はございませんか。

<事務局 山中>

最後のところについて、義務教育でされているということについて、うちのくらし文化部、人権センターや男女共同参画とかありますので、社会教育の部分とかを事務局の方でヒアリングしてプラスアルファさせてもらうということによろしいですか。

<田中委員>

それで検討してもらえればいいのかと思います。

<森継教育長>

時間ですので、今やっている内容とか課題に対する方向性とかの意見を出してもらってまとめてもらったのですけれども、今日はこれくらいで。次の進め方は。

<事務局 上村>

人権のところにつきましては、今、まとめていただいたとおりにかと思いますが、グローバルなところにつきましても、同じようなところですか。この項目はこのまま置いておいて、関係所管で施策を出して、事務局がまとめるということでしょうか。

<田中委員>

男女共同参画事業もあるし、それ以外には、天理には学校あるじゃないですか。AL

Tもいるし、外国人との交流の部分の事業が結構あるのでは。そういうところで何をしているのかと言えば、グローバルな人間を作ろうとしていると思うんですよ。そこからさらに何かこういうことはできないかと探られたらいいのではないかなど。そこまで考えても、義務教育の部分で行けるというのなら、中嶋委員がおっしゃるように一番のメインとして、天理の教育ではグローバルな人間も作れるよと、人権意識をしっかりとった子どもを作れますよということと一番メインに文章を作っておいて、3本柱でもいいのと違うかなと思いますが、そのあたりは検討されたらどうですか。

<藤井副市長>

まずは、この項目で幅広く拾ってみて、どう整理できるか検討しましょうということですね。

<森継教育長>

グローバルなところについて、どうやっていくのか、というのがありますね。

<事務局 上村>

これについては、関係所管に投げかけて調整をしてみた結果、あがってきたのがこの3点のみでした。この3点でその項目だけではなくで、さらにその上の柱を支えるという「天理市でグローバルな人材づくりをやります」という中身が3点しか整理しきれなかったところです。大綱という意味合いを考えた中で、この3点で「グローバルな人材づくり」というものを支え切れるのか、というところがあったので、内部でどうするかという議論があったのが事実です。

<事務局 山中>

国際交流試合とか、天理大学さんとかでやっているところを入れていけばどうか。

<森継教育長>

それが、グローバルな人材づくりにつながるのか、というところがあります。

<事務局 上村>

調査しても「そういう目的ではない」というふうになってしまいます。

<中嶋委員>

現実に天理市の小学校、中学校出て、天理市の恩恵を受けて国際人に、天理市内の事業に関わるだけになっているのか、というところに弱さを感じるということではないのでしょうか。サッカーでも野球でも経済でもいいのですが、環境の中で揉まれて、天理市にいたからこそこういう人材に生まれてグローバルな人材になったというのが何人

いてるんだということだと思います。だからそこを膨らますのは、言葉としては膨らませることはできても、具体的に書いていくところになったと。ただ、その中で拾いきれてない、天理大学の外国語学部の交流であったりとか、天理におられる国際的な交流をお持ちの方の中心となった交流かもしれないので、それは天理の財産であることは間違いないので、それを天理全体で共有できるものであれば、ここに拾っていきましょうということ、今副市長がおっしゃっていただいたことかと思いますが。

<名倉委員>

拾うのはどんどん出てくると思うんです。それとプラス、方向性も載せたらいいと思います。今、なくても、こういうふうにもっていきたいんだという方向性の文章を載せたらいいと思います。少ないようでしたら。他のところでも方向性がのっているところがあるじゃないですか。その方がより強い文章になると思います。

<森継教育長>

外へ出ていこうと思ったら、原点がなかったら見失ってしまうから、天理をもっとよく知るとか、僕みたいにオーケストラを知らないとか、オーケストラは知っていたのですが、そういう文化の街とか、音楽の街とか、市町村には生まれているに住んでいる者は思っていないとか「てくてくてんり」を知らないとか、天理のことをもっと知ったらグローバルな人材は育っていくという感じはする。

<中嶋委員>

今できていることだけではなくて、それプラスできるかもしれないことも方向性として書いていくと広がる。

<田中委員>

せっかく書いてはるので、もう一度検討するという事。

<事務局 上村>

ありがとうございました。この間、資料を整理する中でグローバルについては「これでは弱いのでは」人権については「教育部門に関わる部分が多い」など、事務局の中でいろいろな意見があったので、事務局として変更したいということではなく、そういう意見があったので、少し、皆様の意見も聞きたかったところ。大事な内容の柱ですし、「この4本柱で考える」ということが当初の提案であったので、その方向で調整させていただきます。実際、やってないというわけではなく、視点が難しく、整理しきれないというところが多々あります。さきほどおっしゃっていただいたスポーツも「グローバルな人材づくり」として行っているわけではなく、技術の向上であったり選手の交流であったりということが目的ですので「グローバルな人材づくり」というくくりでは整

理できませんでした。

<田中委員>

確かに難しいですね。世界で活躍するグローバルな人材づくりとなると。

<中嶋委員>

例えば、柔道とかならパッと出てくるわけですよ。たくさん。でもそれ以外で、って言うとはたしてどうですかとなった時に、探していくと大学の教授とかもおられるんですが。「これから」ということを検討すればどうでしょうか。

<森継教育長>

他に今後のことで何か質問はありませんか。

<中嶋委員>

どこかの段階で、これがもうちょっと変わった形のものが出てくるんですね、

<田中委員>

基本的には、天理での取組みに委員が意見を言って、出尽くした後、ピックアップするのはですね。で、グランドデザインとしてあげていくと、こういうことでいいですよ。

<事務局 上村>

はい。次のところで、簡単なスケジュールを言わせていただこうかと思っていたのですが、今日いただいた意見「ここをもう少し」というところを調整させていただいたの結果を検討していただく時間はございませんので、固まっているところ、先ほどグループピングをさせていただいたところからワードを抽出して、A3の案のところに文言を書き出したものを次回にお示しをしようと思っています。もちろん、今の資料の部分の直させていただいたものも出させていただきます。その内容について、ご議論いただいて、そこでまた修正があるかと思しますので、修正したものを9月の総合教育会議で最終の確認をしていただきたいと思います。

レイアウトにつきましては、事務局の案としては、今、産業振興課の方でやっている天理のブランディングを取り組んでいます。天理市の効果的な発信の方法も議論していますので、そこでフォントや色使いやロゴのようなものが、来年になったらできると聞いていますので、そのあたりと合わせて、天理市として統一的なイメージで発信していけばどうかと考えています。ですので、レイアウトはまだこれから変わっていくと思います。次回でお示しするのは内容の部分です。A3のスペースですので文言は少し抽象的になりますが、具体はどこにあるのかということになれば、別冊の資料にあると、

このような構造にしたいと考えています。以上です。

<森継教育長>

あと、日程の確認をお願いします。

<事務局 上村>

会議が始まる前に決めていただきました日程でございますが、次回、第4回は8月の21日、金曜日、午後1時30分から、特別会議室でお願いいたします。次の第5回でございますが、この時にパブコメの最終確認という形でお願いできればと思っておりますが、9月の4日金曜日の午後3時30分からということでお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

<森継教育長>

では、ありがとうございました。また、よろしく申し上げます。

(17時15分閉会)